

# 福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

2023年度

合併号

(9月～11月)

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22

TEL093-662-6000・FAX093-662-6006

E-mail gakuhoren@fukuoka-gkd.jp

発行・福岡県学童保育連絡協議会

2023年11月15日発行 NO2号



福岡県学童保育連絡協議会（以下、福岡県連協）の会員及び関係者の皆様、  
日頃よりご尽力してくださっていることに感謝し、合わせて県連協へのご理解ご協力あり  
がとうございます。

今年も皆様と共に学童保育施策の拡充に向けて活動していく所存です。

## 第41回福岡県学童保育研究集会 に向かって！！

第41回福岡県学童保育研究集会は2024年2月25日(日)に  
春日クローバープラザを会場に、3年ぶりに対面で開催します。

実行委員会がスタートしました！

十月最後の日曜

日、こちらも3年ぶりに対面での実行委員会を開催し、会場の大野城まどかぴあに県内各地から二十名以上の実行委員が集合しました。

始めましての方とお久しぶりの面々、会議終了後「やっぱ

り対面の会議はいいですね。たくさん意見が出て、充実した実行委員会になりました。」とメッセージが届きました。

リモート会議の便利さはありますが、対面での空気感と言いか安心感はリモートでは得られません。コロナ禍で分断されていた人の繋がりを取り戻せたよう気がしました。

また、たった3年

の間に学童を取り巻く環境も随分変化しています。特に営利企業の参入が増え、長年、保護者と支援員が共に作ってきた組織が企業参入により人の関係もバラバラにされ、保護者会の無い学童が更に増えてきています。

働く保護者の願いから作られてきた学童保育。こんな時だからこそ、保護者同士、保護者と支援員、支援員同士がしっかりと手をつなぎ、子どもたちの育ちが豊かなものになるように共に学びあえる場を大切にしていきましょう。

第四十一回福岡県学童保育研究集会副実行委員長

藤廣

# 筑後地区交流会

参加地域：大刀洗町、うきは市、大川市、朝倉市、  
八女市、筑後市、役員5名

今年も開催！！

日時：2023年9月10日（日）午後1時  
場所：えーるピア久留米 205 学習室

## 筑後地区交流会。今年も開催できました！

2023年9月10日（日）。午後1時より、えーるピア久留米にて。

参加地域は大刀洗町、うきは市、大川市、朝倉市、八女市、筑後市、役員5名。

今年もテーマごとに県連の吉岡会長・事務局の木下さんから助言をいただきながら、それぞれの立場（支援員・運営者・行政）から現状の報告、思い、悩み、質問等、午後4時過ぎまで活発な意見の交流がなされました。以下、交流した内容の一部です。

### 処遇改善後の支援員の処遇について。

運営者・自治体によって格差がありました。時給・月給、主任手当てや資格手当てなど、給料以外の各種手当ても金額も様々でした。また、扶養範囲内で働いている方々は、時給が高くなると逆に勤務時間を減らさないといけなくなるのが、とても悩ましいところ。そのような状況ですので、主任の頭を悩ませているのが、やはりシフト作成。慢性的な人手不足の上、1支援あたり開所時支援員2名、閉所時支援員2名という条例もあり、特に夏休みのシフト作成には苦勞されたようです。

### 障害児増加に対する加配の現状と対策について。

現在民間企業による放デイ（放課後デイサービス）が数多くありますが、今後審査が厳しくなり、放デイを利用していただいていた児童が学童クラブを利用するようになり、より一層支援員の専門性が問われることになってくるだろう、との話がありました。

危機管理マニュアルの作成と研修・訓練計画について。

マニュアルは、早くから作成して避難訓練等の計画も実践も出来ている学童クラブもあれば、行政が率先して作成に協力して下さる学童クラブもあれば、支援員間で作成中という学童クラブもありました。

ある民間企業が作成したマニュアルで「突き指をするからボール遊び禁止」「転んでケガをするから鬼ごっこ禁止」といったようなマニュアルが存在するとのこと。マニュアル作成時には、このような行き過ぎた内容にならないよう注意しなければならない、とアドバイスを頂きました。

### 酷暑の夏休みの保育内容。

室内で遊べるカードゲームや工作、学童祭り、バス遠足、週一でイベントを計画、映画鑑賞、ヤクルト・九電等の出前講座、水遊び、プール遊び・・・etc

その中で、参加者の皆さんの興味を引いたのは「コグトレ（認知機能強化トレーニング）」でした。行政から勧められ、毎日朝の会后15分やって集中力もつくし、通常の保育では見えない個々の特性（能力）が分かったので、やってよかった…とのことでした。

筑後地区交流会は、今後も年に1回は開催します。来年も夏休み終了後、9月の予定。沢山の地域からの参加をお待ちしています（^O^）／



## 「2023年度 第2回 しゃべり場 in 宗像」報告～遊びは成長の糧である～

2023年9月15日（金）9：30～12：00、宗像市吉武地区コミュニティ・センターにて2023年度第2回「しゃべり場 in 宗像」を開催しました。

今回は7市町20人の方が参加申し込みをいただきました。

初めて参加してくださった方もいらっしゃいましたし、地域も広がり、回を重ねるごとに参加して下さる方が増えてとてもうれしく思います。

今回は、福岡市のよりどりちどり館の松永さんに、よりどりちどり館での実践を提起報告していただいた後、5つのグループでおしゃべりしました。

おやつのこと、宿題のこと、遊びのこと、行事、子どもとの関わり方、保護者対応、運営形態等様々な話題で盛り上がっていました。

支援員の仕事は多岐にわたり、答えが無いことも多く大変です。他地域の支援員とおしゃべり出来るこのしゃべり場で、少しでも気持ちがスッキリして、尚且つ参考になることをもって帰っていただけるように、今後もこのしゃべり場を続けていきたいと思えます。

次回は2024年1月12日（金）を予定しています。支援員同士楽しくおしゃべりしませんか？気軽に参加ください。

参加してくださった方の感想を一部紹介します。支援員同士で、各々の学童での悩みや愚痴、楽しいこと等、ざっくばらんに話せる“しゃべり場”の大事さが参加者の方の感想からも、改めて感じます。

### 参加者の感想（一部抜粋）

- ・ 時間がどれだけあっても足りない・・・というくらい話が尽きませんでした。たっぷり2時間近く話ができる場というのはなかなかないので本当にありがたいです。
- ・ 各学童、各グループ、様々なテーマや悩みがあり、**学童という場所が楽しくもあり難しい所でもある事**を改めて感じました。
- ・ 他の学童との交流する機会はありませんのでこういう場があるのは大事だと感じました。
- ・ 支援員間の話し合いが出来ると良い雰囲気になると思うのでこれからもこの会（しゃべり場）を続けて頂きたい。
- ・ 保護者の方、支援員の先生、そして何より子どもとの信頼関係を築いていくことが何より大事。けがに対して、ケンカに対して、トラブルに対して、声掛けに対して、全てはお互いの信頼関係から成り立っている。答えがないものの奥深いもので、大変な事、しんどいことはあると思うが、**それを上回る楽しさ、やりがいがある仕事だ**と思う。
- ・ 沢山のイベントを企画する学童の先生のお話を聞いて楽しそうに感じました。「**遊びは成長の糧である。**」という言葉が胸に響きました。

## ～子どものつばやき（なつやすみ）～

- A「朝の会を進めたり、一年生二年生をまとめたりしてとても大変だったけど楽しかった。  
（；^ω^） 映画会で騒がしすぎて泣いた。（´；ω；`）」
- B「一年生・二年生をお世話して少し大変だったけどたのしかった。🌻
- C「1・2年生はとっても元気でうるさかったけどとても楽しそうに遊んでいて良かったで  
す（\*´▽`\*）」
- D「リーダーのやることはいろいろあって大変だったけどちゃんとやり切ることができた。  
（\*^-^\*）」

→第1遠賀南学童保育クラブは1・2・6年生が生活しています。長期休暇は6年生  
（今年は4人）が支援員と一日の生活や行事を確認しあい一日の生活の流れを仕  
切ってくれます。朝の会で一日の生活説明や注意事項の説明、水分補給タイム野球  
憩タイム、昼食への働きかけなども声掛けしてくれました。その一言感想です。

## こ ん だ ん

### 福岡県会議員福地幸子さんとの懇談

2023年8月22日（火）10:00～ 赤間地区コミュニ  
ティセンター  
<出席者>10名 福地幸子さん（県会議員）・唐崎・  
宮本・辻／県連より）平・杉・佐原・藤廣・森元・  
木下

#### （1）県内学童保育状況

- 県内の学童保育数と状況と学童保育とは  
森元事務局長より学童保育の概要  
・「放課後児童クラブ運営指針」と学童保育運営  
について。
- 県内の課題・問題点  
・宗像市を例にして民間企業参入の問題点を出  
し合う。

・コロナ禍の中で保護者会をなくすところがでて  
きている。保護者会の重要性を吉武小学童の保護者  
会活動内容を紹介する。

- ・支援員不足
- ・処遇改善

まずはキャリアアップ処遇改善を宗像市に要望し  
ていく。

#### （2）県会議員との連携について

共に連携してより良い学童を目指し、引き続き交流  
をしていくことを確認し合う。



### 福岡県こども未来課との懇談

2023年8月30日（水）10:00～11:40  
福祉労働部こども未来課（事務所）  
<出席者>【こども未来課】4名 【県連】6名

- <学童保育の現状>  
・森元事務局長より県内の学童の状況説明（総会資  
料をもとに）

今回の懇談は、学童保育の担当課の変更（青年育成  
課からこども未来課へ）に伴い  
ごあいさつと、福岡県内の学童の様子、今後とも学  
童保育施策拡充に向けて引き続きよろしくお願  
いいたしますとお伝えいたしました。

## 国の動きより

### 安全計画の 策定に向けて

\*——\*

学童保育の夏休み期間に起きた悲しい事故を受けて、改めて子ども家庭庁から安全計画の今年度中に策定し来年度から義務化するよう通達を出していますが、県内自治体の動きはあまり聞こえてきません。担当課に働きかけ共に連携し学童保育に沿った計画の策定をお願いします。ただ、気をつけなければならぬことは、安全計画は全体的対応であるため、支援員は子ども一人一人に対する対応を検討し配慮し育成支援することが大切です。安全計画を重視するあまりリスク（経

験し身につけなければならぬ危険）さえも排除したり禁止したりすることの無いよう考えなければならぬと思います。

### 学童保育の 待機児童解消 に向けた通達

\*——\*

子ども家庭庁は学童保育の待機児童解消に向けて、近々の課題として『学校の空き教室を活用してでも解消に向けた検討をするように』と市町村に向け発信しました。待機児童が生きている地域は市町村の動きに注視しましょう。



## 9月—11月

## 報告と予告



### 9月

- 6日 大木町出前研修 1回
- 10日 筑後ブロック交流会
- 11日 第2回役員会
- 15日 第2回しゃべり場in宗像
- 21日 大木町出前研修 2回
- 28日 第41回研究集会第1回実行委員会/東宮永学童出前研修 1回

### 11月

- 4,5日 第58回全国学童保育研究集会
- 15日 うきは市出前研修
- 17日 古賀市出前研修

### 10月

- 4日 嘉麻市出前研修
- 5日 東宮永学童出前研修 2回  
第3回役員会
- 11日 大木町出前研修 3回
- 19日 全国研実務者会議
- 26日 大木町出前研修 4回
- 27日 全国研講師、世話人うちあわせ
- 29日 研究集会第2回実行委員会  
大野城まどかぴあ

### 散歩道 さんぽどう 廣田大輔

私事で恐縮ですが、最近散歩をする機会が多く、散歩の楽しさに魅力を感じてきています。あらゆる面で生活が便利になってきており、身近な大切なものに目を向けることが少なくなっているのではないかと感じています。自分の中で散歩はそんな何気ない日常を少し思い出させてくれる時間になっています。何より健康にもいいです。

話は変わりますが、保育園での不適切な保育という報道を見る事が多くなってきました。その内学童でも同じような報道が出てくると思います。子どもに虐待等を行うことは決して許されません。誰もが分かっていることですが... 今後報道等と言われることでしょうか。同じ専門職として思うことはたくさんありますが、正当化はできません。学童も保育もサービス気質が強まり過ぎており、保護者や子どもと対等には関われない場面もあるのではないのでしょうか。それはもう最悪の状態、目の前の子を見ることができず、目の前の子どもに背景（保護者や社会の目）を相手に保育をしてしまっている気がします。何が言いたいのか？と言うと、残りのページが少なくなってきたので単刀直入に言います。学童や保育分野の先生方、一緒に要求していきましょう。自分たちの価値を自分たちで上げましょう。給与面での弱者ぶり、待遇の悪さをぶちまけましょう。そうすれば誇りも出てきて、もっといい未来が待っているはずです。みんなで渡れば怖くない精神です。まず自分からやってみたら？と言われそうなので、この話はショナイ（内緒）でお願いします。